

国民の世論と運動で「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2013年2月21日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

生活保護費を大幅削減する2013年度予算案の撤回を

北海道でも、緊急・記者発表

生活保護利用者からも切実な訴え



2月19日、反貧困ネット北海道が、「生活保護費を大幅削減する2013年度予算案の撤回を求める緊急声明（2.13「STOP!生活保護基準引き下げ」アクション）」について、記者発表しました。全国各地でも行われています。

当日は、渡辺達夫弁護士が発表の趣旨を説明し、反貧困ネット北海道の木下武徳事務局長（北星学園大学社会福祉学部准教授）が、①生活扶助基準引き下げの問題点や国民生活全般への影響、②制度の見直しによる保護費削減の内容と問題点など、声明の内容を説明しました。また、生活保護を利用している一人暮らしの女性から「灯油が上がって大変、食事代も節約している」など今でも実態を告発し「引き下げはやめてほしい」と訴えました。細川久美子・道生連副会長からは、国民生活全体の底上げも必要と「3月2日、1000人集会」の参加も呼びかけました。

生活保護改悪やめて・消費税増税やめて
社会保障の拡充こそ必要

2月22日（金）昼宣伝 参加を
12時15分～45分 パルコ前

3月2日1000人集会 23日からCM（広告）

- ◇STVラジオでのCM（1日5回） 下記のURLで聴けます
http://www.youtube.com/watch?v=flzVv1-_hug
- ◇街頭ビジョン「4プラ」（1時間4回）URLで視聴できます
http://www.youtube.com/watch?v=flzVv1-_hug

反貧困ネット北海道

2月25日に 労働と生活の総合相談会

時間 10:00～16:00

場所 エルプラザ3階ホール(札幌市北区北8西3)

相談無料

いよいよ明後日(23日)

国保改善運動全道交流集会

記念講演 「国保再生へ～地域経済を支える仕組みの再構築～」
講師 長友 薫輝 氏 三重短期大学准教授

特別報告 「高すぎる国保料・滞納制裁とのたたかい」 佐藤宏和・道生連事務局長



保険料が高く、道内でも滞納世帯が11万を超え、差し押さえも急増しています。中には、違法な差し押さえも行われています。一部負担金も高く、「手遅れ死」も生まれています（道民医連-2012年度5名）。全道各地で保険料の引き下げや一部負担金の減免のとりくみも行われています。学習し、深刻な実態や改善のとりくみなども交流し、国保制度を改善させましょう。

「保険料が高すぎる」と一般市民からの参加申し込みがありました。

高い保険料 道内の地域格差 2.6 倍

2011年度保険料（一人当）	
最低額保険者	60,570円
最高額保険者	160,128円

滞納世帯 11万8千世帯
差し押え 16,790件 46億1759万円

保険料減免 25,685世帯
一部負担金減免 わずかに156件

23日(土)9時30分～16時 高教組センター会議室